

八幡市防災アプリの導入

自治体名

京都府八幡市

人口（R6.9.30現在）

68,789人

取組のキーワード

■ スマートフォン

■ 情報伝達手段の多重化

■ 多言語対応

地域計画の履歴

令和2年6月 策定
令和5年4月 改定

取組のカテゴリ

想定災害	地震災害	風水害	
取組主体	行政職員	地域企業等	
施策分野	防災教育等	情報通信	デジタル活用

取組の概要・ポイント

取組を実施するきっかけとなった背景や課題

- ✓ 八幡市は、複数の河川があり、大雨の際は降雨情報や河川水位情報など避難行動に必要な情報を地域ごとにきめ細かく速やかに発信・共有することが求められている。
- ✓ スマートフォンの普及等による地域住民の生活様式の変容に伴い、新たな情報伝達手段の確立が求められていた。
- ✓ 外国人居住者の急増による情報発信の多言語化や防災無線が聞こえづらいとの声を踏まえた情報発信の多重化の必要性が高まっていた。

取組の内容

- ✓ 市民に向けた災害時等の情報伝達手段の多重化を目的とし、スマートフォン及びタブレット端末で利用可能な「八幡市防災アプリ」を構築した。

取組の概要・ポイント

取組と地域計画の関係

- ✓ リスクシナリオ「1-5 情報伝達の不備による避難行動の遅れで多数の死傷者の発生」の脆弱性評価の結果として、「防災アプリケーションの導入を進め、防災行政無線、緊急速報メールなど複数の情報伝達体制の構築により、住民の命を守る体制を確立する必要がある。」と記載している。

今後の展開予定

- ✓ スマートフォンを利用するすべての地域住民に本アプリを利用してもらえるよう広報活動に努め、更なる防災意識の向上や適切な避難行動の促進を目指す。

1 取組を実施するきっかけとなった背景や課題

- 八幡市の近傍には一級河川である木津川、宇治川及び桂川など複数の河川があり、台風や線状降水帯による大雨の際は降雨情報や河川水位情報など避難行動に必要な情報を地域ごとにきめ細かく速やかに発信・共有することが求められている。
- これまで防災に関する情報伝達手段として防災行政無線、緊急速報メール等を活用していたが、スマートフォンの普及等による地域住民の生活様式の変容に伴い、新たな情報伝達手段の確立が求められていた。
- その他に、外国人居住者の急増による情報発信の多言語化や防災無線が聞こえづらいとの声を踏まえた情報発信の多重化の必要性が高まっていた。
- そこで、スマートフォン等で利用可能な防災アプリケーションを導入することを考案した。

2 取組の内容

- 市民に向けた災害時等の情報伝達手段の多重化を目的として、スマートフォン及びタブレット端末で利用可能な「八幡市防災アプリ」の構築を実施し、令和3年4月1日より運用を開始した。アプリ構築に係る要件定義は市の職員の意見を反映させ、開発は民間企業に委託した。
- 「八幡市防災アプリ」は、視覚的に災害の危険性が判断できるように設計しており、アプリホーム画面にあるアイコンの色が危険性のレベル（※）ごとに変わる仕様になっている。
- 加えて、避難情報や気象警報の状況等のプッシュ通知が可能であり、情報伝達の即時性を確保している。

- 河川の水位・河川カメラ・避難所開設情報・避難所の混雑状況等の確認など災害時に有用な機能のみならず、平時から1週間天気予報や雨雲レーダーの確認ができ、1つのアプリに防災対策や避難行動に必要な情報を集約している。
- 本アプリは、音声読み上げ機能や多言語にも対応し、日本語に慣れない外国籍住民の適切な避難行動の促進にも寄与している。
- 令和7年1月7日時点で市民の約2割に当たる12,882件のダウンロード数があり、新たな情報伝達手段として有効に活用されている。

八幡市防災アプリ

yawatashi bousai app

「色の変化」でわかる災害情報



(※) 危険性のレベル

5	レベル5	災害発生
4	レベル4	避難
3	レベル3	警報
2	レベル2	注意
1	レベル1	早期注意

災害発生時の危険度を5段階で表示。レベル4・5は点滅でお知らせ。

「モード切替」で誰でも使える画面設計



3 取組と地域計画の関係

【地域計画における記載】

- 令和2年6月策定（令和5年4月改定）の八幡市国土強靱化地域計画では、リスクシナリオ「1-5 情報伝達の不備による避難行動の遅れで多数の死傷者の発生」の脆弱性評価の結果として、「防災アプリケーションの導入を進め、防災行政無線、緊急速報メールなど複数の情報伝達体制の構築により、住民の命を守る体制を確立する必要がある。」と記載している。
- 地域計画の記載が本取組を実施するための根拠となり、全国的に早い段階での市独自の防災アプリの構築実現に至った。

4 今後の展開予定

- スマートフォンを利用するすべての地域住民に本アプリを利用してもらえるよう広報活動に努め、更なる防災意識の向上や適切な避難行動の促進を目指す。

参考 周囲の声（庁内職員・住民・企業）

- 災害対応で必要となる情報を一元化でき、情報収集が楽になった。（市職員）
- 地震や台風の情報のほか、豪雨になりそうな時に通知が来るのが便利。（市民）